

## ✿ 今週のトピックス ✿

## 麻疹のガイドラインの改訂がありました！

麻疹(はしか)は、感染力が極めて高く、重症化することもある感染症であり、我が国においては麻疹排除状態が維持されている一方、近年、海外流行地域からの輸入例等を契機とした発生が報告されています。さらに、令和8年に入り報告数が増加し、令和2年以降最多となるペースで感染が拡大しています。こうした状況を踏まえ、ガイドラインが改訂されました。あわせて厚生労働省より、地方公共団体の皆様へのメッセージと国民の皆様へのメッセージも公開されました。

## 麻疹の感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ

○ 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻疹(はしか)が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻疹(はしか)は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。麻疹(はしか)は、「かかってみたいことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に1人死亡するとされている感染症です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

## &lt;麻疹(はしか)を疑う症状がある場合の対応&gt;

- 麻疹を疑う症状がある場合は、外出を控えるとともに、受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従ってご対応いただくようお願いいたします。
- 感染拡大防止のため、受診の際には、公共交通機関の利用を可能な限り避けることについて、ご協力をお願いいたします。

## &lt;自治体の疫学調査へのご協力&gt;

- 麻疹(はしか)の感染拡大防止には、患者や接触者に対する行政による調査が重要です。ご協力をお願いいたします。

## &lt;ワクチン接種のご検討&gt;

- ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは2回接種することが重要です。
- お子様は麻疹・風しんワクチンの定期接種の対象である1歳又は就学前1年間にある場合、積極的に早期の接種をご検討ください。
- 海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、渡航の2週間前までに接種することをご検討ください。
- 2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、2回の定期接種が行われていない可能性があります。母子健康手帳等で、過去の麻疹の罹患歴又は2回の接種記録を確認できない方は、今一度、麻疹・風しんワクチンの接種をご検討ください。なお、今回の流行は10代～40代の方を中心に流行していることも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

## &lt;特にご注意いただきたい方々&gt;

- 特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。
  - ・ 保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
  - ・ 空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方
- また、以下の方々は、感染すると重症化するとされていますのでご注意ください。
  - ・ 妊娠中は麻疹風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
  - ・ 免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻疹風しんワクチン接種をご検討ください。
  - ・ 乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。

## &lt;参考&gt;

- ・ 保健所における麻疹対策・対応ガイドライン第三版  
<https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/guideline-phc03-20260424.pdf>
- ・ 麻疹の感染拡大防止に向けた地方公共団体の皆様へのメッセージ  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001695853.pdf>
- ・ 麻疹の感染拡大防止に向けた国民の皆様へのメッセージ  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001695854.pdf>

## ❀安房管内の感染症発生状況❀

★安房管内における2026年第18週(令和8年4月27日～令和8年5月3日)

### 新型コロナウイルス感染症

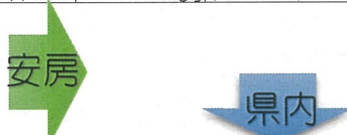


定点医療機関当たりの報告数は0.33人と前週0.17人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は0.94人と前週1.08人と比べ、減少)

<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

### インフルエンザ



定点医療機関当たりの報告数は0.00人と前週0.00人と比べ、変化はありません。

(県全体の報告数は0.24人と前週0.44人と比べ、減少)

<参考>インフルエンザから身を守ろう(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>  
インフルエンザ注意報の発令について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/infulu1029.html>

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



定点医療機関当たりの報告数は2.00人と前週2.25人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は2.73人と前週3.39人と比べ、減少)

<参考>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>

## ❀安房管内の全数届出疾患❀

全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、最寄りの保健所に届け出る必要があります。

#### <2類感染症> 結核 3件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

<参考>・結核情報(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kekkaku/index.html>  
・結核(厚生労働省) [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html)

#### <5類感染症> 侵襲性肺炎球菌感染症 1件

小児と高齢者を中心とした発症が多く、臨床的特徴が異なります。

小児では、成人と異なり、肺炎を伴わず発熱のみを初期症状とした感染例のはっきりしない菌血症例が多いです。成人は、発熱や咳嗽、息切れなどを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多いです。

<参考>・侵襲性肺炎球菌感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-09-02.html>

【配信元】  
千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)  
あわつと感染症情報  
[awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp)